

かしわの☆レポート

発行責任者：柏野大介 恵庭市住吉町2-2-1 4
 電話：090-2695-2880 FAX：0123-39-5333

web：http://kashiwano.info/
 Email：dkashiwano@gmail.com



9/24（木）から始まった第3回定例会は、12人の一般質問と平成26年度の決算審査などを行い、10/16（金）で閉会となりました。

◆ 押し付けの地方創生でいいのか

平成27年度補正予算の審議では、国が推し進める地方創生の一環として、総合戦略に基づく先行型交付金として1000万円の交付金事業が提案をされました。

- ・イベントマップ等の情報のインターネット上での一元化（200万円）
- ・女性の就職に対する意識調査に係る経費（150万円）
- ・恵庭ハッピーハロウィン開催費補助（300万円）
- ・観光案内板整備事業（200万円）
- ・結婚活動応援イベント委託料（150万円）

本会議での質疑も行いましたが、本来は委員会に付託をして、求める成果が恵庭の目指す未来にどう近づくのか、お金の使い方として適切なのか、より詳しく議論をする必要があったと思います。あくまで原資は税金であって、国がお金を出してくれるから細かいことは後回しという考え方では本来ないはずです。

国の定めた期間内に国の求める計画を作る「地方創生」という矛盾がここにも表れています。

◆ 恵庭の将来像を質す

今回の一般質問では、大きく分けて2点、恵庭市の将来像と、ごみ行政をテーマにしました。将来像としては、恵庭市でも現在策定中の人口ビジョンと財政運営の指針、公共施設等総合管理計画について、市長の考えを質しました。

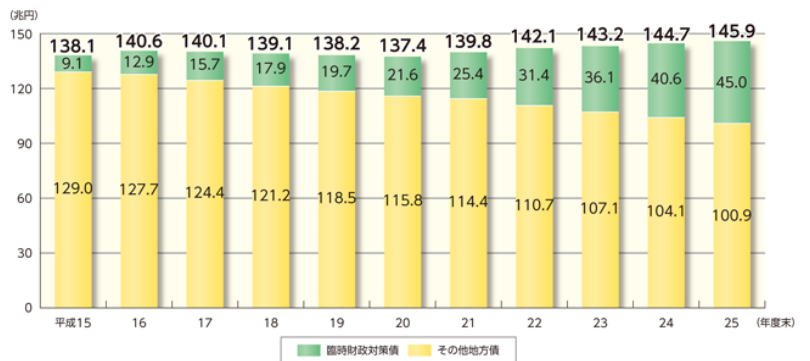
今、恵庭市が策定しようとしている人口ビジョンや総合計画では、相変わらず転入者を増やすた

めの工業団地と宅地造成が必要という考え方が主です。

しかし、人口減少社会の中では、これまでの豊かさという価値観を再定義していくこと、企業誘致ではなく、恵庭がこれまで培ってきた資源をじっくり育てていくような取り組みが求められているのだと思います。

◆ ますます国依存の財政運営へ

国は、地方財政の不足分を地方に借金（臨時財政対策債）をさせることで補っています。



「地方債現在高の推移」
 （出典：平成27年版地方財政白書ビジュアル版）

借金返済の財源も後で国が面倒を見てくれることになっていますが、臨時財政対策債の比率は全国的にも増え続けており、国依存で硬直化した地方財政はますます自律性を失ってしまいます。

借金の総額を減らすことを目標として、安易な市民負担の増ではない自主財源の確立を進めていく必要があります。

◆ 公共施設のあり方を変える

人口が増える時代には、借金をしても公共施設を増やしていくことが正しい方法でした。人口減少の中では、施設の複合化や多機能化、民間施設の活用も視野に入れていくことが重要です。

恵庭市の公共施設の3割は学校で3割は市営住宅です。市営住宅については、多額の建設費を要する直接建設方式を改めて、既存の民間住宅の活用によって、住宅に困る人たちに必要な施設を提供することを提案しました。

人口減少社会にあった住宅供給、住宅政策への転換が求められています。

◆ ごみ基金と将来の値上げ

今議会の中で、基金条例の改正が行われ、いくつかの基金が統合されました。

また、焼却施設の整備に向けて、風評被害に備える基金をつくることとしました。この議案は総務文教常任委員会に付託されましたが、新設のごみ基金に関する実質的な審議をする前日に採決が行われました。まさに形骸化した議会を象徴するものです。

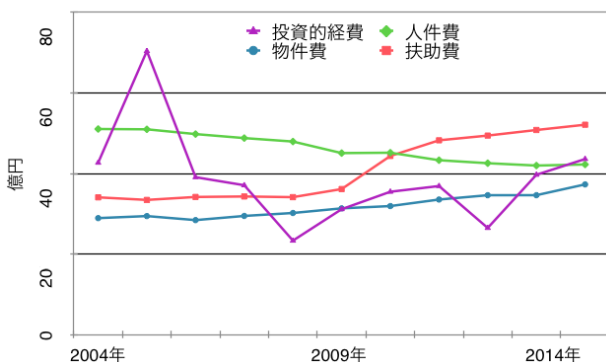
中身をみても、恵庭市の農業生産額(60億円)と比べてあまりにも小さい基金額(1億円)は、単に施設の更新費用の頭金という根拠ありきのものです。また、この基金の積み立て原資は手数料からとなっており、手数料の料金改定とも密接に関連します。

残念ながら手続きとしても大いに疑問を残したまま、賛成18、反対2でこの議案は可決されました。

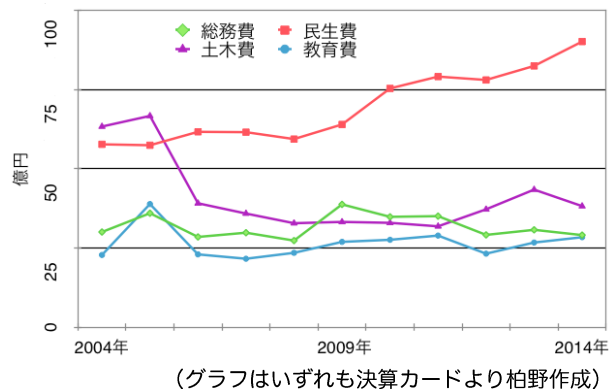
◆ 厳しい中でも財政規律を保った決算

平成26年度(2014)恵庭市一般会計決算に対し、賛成の立場から討論を行いました。

性質別歳出で見ると、人件費、扶助費などの義務的経費が占める割合は他のまちと比較して高く、投資的経費もここ2年で増加しています。



目的別歳出で見ると、民生費が増え続けていること、土木費が近年の中では高い水準にあること、相対的に総務費、教育費が低く推移していることが特徴的です。



収納率(税・料金などの回収率)は改善しているものの、経常収支比率は非常に高く、今後の財政運営は楽観できるものではありません。

◆ 若者と政治を考える

8~9月の2か月間、若者と政治をつなげようと活動をしているNPOのプログラムで、3名の学生インターンシップを受け入れしました。日常的な活動に帯同をしてもらうことを通じて、政治や議会を主体的に考えてもらいたいと思っています。

随時インターンシップの受け入れを行いますので、高校生・大学生などで関心のある方はご連絡ください。

あなたの声は議会に届いていますか?

応援した・投票した議員は、あなたの声を代弁していますか? 出てきた議案に対して、どう考え、議場でどんな発言をしたのか、私はできるだけ詳しくお伝えしていきたいと思っています。私からの報告はほどほどに、みなさんからのご意見、ご質問など、意見交換が中心の会を開催します。ぜひご参加ください。

日時: 2015年11月5日(木) 18:30~20:00
場所: 恵み野会館 会議室2